

## 第2部

# 基 本 構 想

## 第1章 計画の目標

### 第1節 川南町の将来像

本町は、これまで「豊かで明るく住みよい町づくり」をめざし、農林水産業をはじめとした各産業の振興や道路交通網、公園等生活関連施設の整備、保健・医療・福祉の充実、さらには生涯学習の推進と町民文化の向上等各種の施策を積極的に展開してきた。

この結果、社会資本の整備も進み、町民の所得水準や生活水準は確実に向上するなど一定の成果を上げてきているものの、「活力ある豊かな川南町」を実現するためには多くの課題が残されている。

特に長期化する厳しい経済状況は、農業を中心とした本町の産業経済に深刻な影響を与え、また雇用問題の深刻化から依然として若年層の都市流通が進み、加えて出生率の低下や本格的な高齢化社会の到来により、人口が減少するなど、本町を取り巻く社会環境はこれまでにない深刻な状況となっている。

このため今後の町政運勢は、新たな地方の時代を迎え様々な困難と試練に直面することが予想されるが、幸い本町は、南国特有の温暖な気候、四季を通じて変化に富んだ自然と緑豊かで広大な農地を有し、また開放的で人情味あふれる町民生が残されている。これらは、人と自然が共生し、地域の選択と責任により自主的な地域づくりを進めていくうえで貴重な財産となりうるものである。

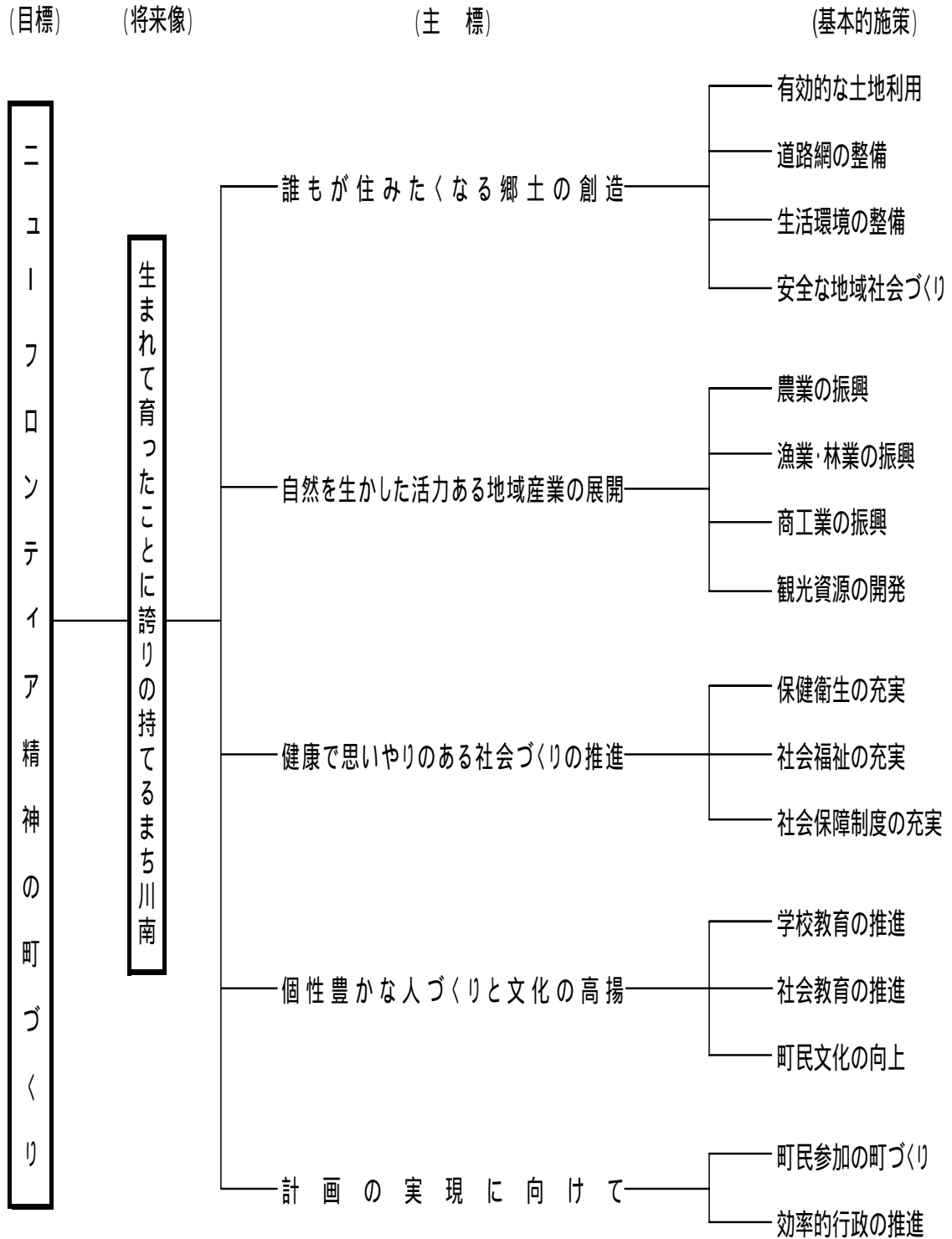
このようななかにあつての本計画は、21世紀初頭の本町の進むべき方向を定める重要な計画となるが、計画策定に当たっては、多くの困難を克服し、今日の川南町発展の礎となった先人たちのたくましい開拓精神を思い起こし、さらに発展するために「ニューフロンティア精神の町づくり」をめざすとともに、これまで築かれた町政発展の基盤と恵まれた自然環境、風土、特性を時代に引継ぎ、親子孫3世代がゆとりと豊かさを実感でき、「生まれて育ったことに誇りの持てるまち川南」の実現に努めるものとする。

その目標を達成するために、

- 誰もが住みたくなる郷土の創造
- 自然を生かした活力ある地域産業の展開
- 健康で思いやりのある社会づくりの推進
- 個性豊かな人づくりと文化の高揚
- 計画の実現に向けて

を基本主標に町民一人ひとりの参加と協力のもと各種施策を積極的に展開していくものとする。

## 第四次長期総合計画施策の体系図



## 第2章 計画の主要指標

### 第1節 人口

#### 1 人口と世帯数

普通死亡率の停滞と出生率の低下によって人口増加率は急激に落ち込んでおり、厚生省人口問題研究所の全国人口推計では、2,010年前後で増加率はゼロになり、以後は人口減少が始まると予想している。本町における人口推移も減少傾向にあり、今後もこの傾向は続くものと予想される。

また、昭和60年における本町の合計特殊出生率は2.21となっていたが、平成7年では1.88まで減少している。さらに、若年層(15歳～19歳)の移動率の落ち込みが大きく、昭和60年では80%台を維持していたが、平成7年では50%を割る状況となっている。

こうした状況をもとに人口推計を行った結果、目標年次の平成22年における人口を17,100人と予測した。

世帯数については人口に反して増加の傾向にあるが、これは核家族化の進行やシングル志向の傾向が強まってきたためと思われる。こうした傾向は今後も一層増加するものと考え、目標年次の世帯数を5,945世帯、一世帯当たり構成員を2.9人程度と予測した。

人口・世帯数の予測

単位；人、世帯、%

区分	実績	計画		17/7		22/7	
	平成7年	平成17年	平成22年	倍率	年率	倍率	年率
人口	18,053	17,400	17,100	0.96	0.4	0.95	0.3
男	8,477	8,186	8,018	0.97	0.3	0.95	0.3
女	9,576	9,214	9,082	0.96	0.4	0.95	0.3
世帯数	5,379	5,785	5,945	1.08	0.8	1.11	0.7
1世帯当り	3.4	3.0	2.9	0.88	1.3	0.85	1.1

資料：国勢調査、推計

#### 2 年齢区分別人口

医療技術の進歩による高齢化と出生率の低下による少子化の予想以上の進行は、全国的に年齢構造に大きな変化を示している。本町においても、平成7年から年少人口が老年人口を下回る結果となっており、その差は年々拡大していくものと予想される。

年齢三区分別の構成比では、0歳～14歳人口は、平成7年の18.6%から低下していくものの、平成22年には16.6%とやや回復するが、65歳以上人口は、19.2%か

ら25.0%と県平均を上回るスピードで高齢化が進行するものと思われる。また、15歳～64歳人口についても62.2%から58.4%に減少すると予測した。

年齢区分別人口の予測

単位；人、世帯、%

区 分		計 画			17/7		22/7	
		実 績 平成7年	平成17年	平成22年	倍率	年率	倍率	年率
0～14歳	人	3,364	2,814	2,832	0.84	1.7	0.84	1.2
	%	18.6	16.2	16.6				
15～64歳	人	11,230	10,506	9,997	0.94	0.6	0.89	0.8
	%	62.2	60.4	58.4				
65歳以上	人	3,459	4,080	4,271	1.18	1.7	1.23	1.4
	%	19.2	23.4	25.0				

資料：国勢調査、推計

### 3 産業別就業人口

労働力人口は、再雇用制度等による雇用年齢の引き上げやこれに伴う就労環境の整備により、高齢者及び女性の就業者数の増加が見込まれ、全体では平成7年とほぼ同数の9,789人になるものと思われる。

これまで食料供給基地の一端を担ってきた第一次産業の構成比は、昭和60年には47.6%であったが、平成7年では37.8%までに減少している。新規参入者の減少などにより、さらにこの傾向は続くものと予想され、目標年次の平成22年で28.9%になるものと予測した。

第二次産業は、企業誘致等による雇用機会の増加により順調な伸びを示しているが、東九州自動車道の建設や尾鈴土地改良事業等の公共事業により今後も増加するものと思われ、平成22年には26.2%と予測した。

第三次産業は、余暇時間の増大や高齢化社会の到来に伴い、観光・リゾート関連産業やシルバー・情報産業等のサービス業を中心に最も発展が期待される分野であり、今後ともさらに増加していくものと予想し、平成22年には就業人口の44.9%を占めるものと予測した。

労働力及び就業人口

単位；人、世帯、%

			計 画			17/7		22/7	
			実 績	平成 17 年	平成 22 年	倍率	年率	倍率	年率
		平成 7 年							
労働力人口	人	9,784	9,770	9,789	0.99	-0.1	1.00	0.0	
就業人口	人	9,373	9,497	9,517	1.01	0.1	1.02	0.1	
内	第1次産業	人	3,544	3,043	2,749	0.86	-1.5	0.78	-1.6
		%	37.8	32.1	28.9				
	第2次産業	人	2,204	2,387	2,496	1.08	0.8	1.13	0.8
		%	23.5	25.1	26.2				
訳	第3次産業	人	3,625	4,067	4,272	1.12	1.1	1.18	1.1
		%	38.7	42.8	44.9				

資料；国勢調査、推計



## 第3章 基本的施策

### 第1節 誰もが住みたくなる郷土の創造

#### 1 有効的な土地利用

本町の総面積は90.26km<sup>2</sup>で、このうち山林、池沼、道・排水路等が45.6%という状況である。したがって、本町の将来計画を策定するにあたっては、町民共通の財産である限られた土地を有効的かつ効率的に活用し、豊かで住みよいまちづくりを推進する必要がある。

このため、土地利用については、本町の恵まれた自然環境の保全を前提にした国土利用計画法に基づく川南町土地利用計画を定め、個別計画である都市計画及び農業振興地域整備計画等との調整を図りつつ、町土の効率的な利用と均衡ある発展をめざすものとする。

#### 2 道路交通網の整備

町民生活の向上と経済の発展を図るため、本町の経済、町総合開発の計画に即して、日常生活の基盤としての町道網の整備を基本とし、整備着工した東九州自動車道の高速交通網に対応するアクセス道路及び流通幹線道路網を合わせ、適切な道路空間の確保を図りながら計画的に整備することにより、道路交通の安全の確保と連携による地域づくり、まちづくりに寄与し、地域の発展と活力ある経済と安心できる暮らしの実現に資することを道路整備計画の方針とする。

この計画においては、新たな町活性化実現に向けた支援のための道路整備、活力ある町づくりの支援のための道路整備、よりよい生活環境の確立のための道路整備及び安心して住める郷土の実現の道路整備を推進するものである。

また実施にあたっては、財政の健全性の確保に留意しつつ、その促進に努めることとし、各種事業との整合性の確保を図り、事業の評価等に、より効果的かつ効率的な整備に努めるものとする。

### 3 生活環境の整備

本町の恵まれた自然のなかで、すべての町民が、どこに住んでも健康で文化的な生活が享受でき、やすらぎと潤いを感じることのできる快適な生活空間の確保をめざし、生活環境や住宅施設の整備改善を推進する必要がある。

このため、地域の自然環境に配慮しながら、公園緑地等の確保や上水道、下水道事業の整備充実を図るとともに、公営住宅については、時代の変化に対応した質的向上に努めるものとする。また、近年の課題となっている地球環境問題については、ごみの減量化や再利用に努めるとともに広域処理化を促進していくものとする。さらに、町民生活や産業活動から発生する公害については、徹底した指導を行うとともに、処理施設の整備や指導体制を確立し、町民一人ひとりが公害を出さないよう意識の高揚を図りながら、よりよい生活環境を求めて産業の振興との調和に努めるものとする。

### 4 安全な地域社会づくり

本町は、地理的条件にも恵まれ、地滑り等の自然災害は受けにくい状況にあるが、台風や集中豪雨等による被害には度々見舞われている。今後も多種多様の災害が予想されることから、災害に強い安全な町づくりに努めていくものとする。

また、全国的に交通環境が一段と厳しさを増しており、このため交通事故のない「安全で住みよいふるさと川南」の実現をめざして関係機関、団体、住民が一体となり、思いやりの交通安全思想の醸成を図る。

さらに、各種の災害から町民の生命、身体、財産を守り、その被害を最小限に食い止めるため、消防防災施設の充実、消防団の組織強化を図る一方、広報活動を強化し町民の防災意識の向上を図る。

## 第2節 自然を生かした活力ある地域産業の展開

### 1 農業の振興

本町農業は、自然条件を生かし「耕種部門と畜産部門との調和をとりながら循環型農業の確立」をめざすものとする。

基幹産業としての農業が維持・発展するには、担い手確保、優良農地及び施設の確保、農家所得の安定が必要である。このため、就農支援のための諸条件の整備充実を図りながら、低コスト農業の推進、情報の収集・提供、流通販売機能の充実強化、農産物の品質及び農業技術の向上など、競争基盤の整備充実を図る。

また、快適な集落環境の整備、集落活動の活性化等により、活力ある村づくりに努める一方、尾鈴畑地かんがい事業をはじめ農業生産の基盤を整備し、農作業の効率化と安定作付けによる計画的営農形態を確立し、経営の安定を図る。

さらに、「畜産環境対策」を大きな柱に掲げ、農村環境に配慮した循環型農業を推進する。

### 2 漁業・林業の振興

沿岸漁業経営の確立のため、漁場の開発や施設の整備充実を図る一方、計画的な稚魚の放流により資源の維持確保に努め、栽培漁業の振興を図るとともに、安定経営の確立と魅力ある漁村づくりにより、漁業担い手の確保に努めるものとする。

また、林業については、森林資源の造成と森林の持つ公益的機能拡充のため造林に努めるものとするが、特に広葉樹を中心に、地質・地形等地理的環境に応じた植林を計画的に推進する。

### 3 商工業の振興

消費者ニーズの高度化・多様化、さらには販売競争の激化やモータリゼーションの進展に伴う顧客の町外流出などにより空洞化が進展しており、本町の商業を取り巻く環境には厳しいものがある。このため、新たな時代に対応した経営能力の向上を図るとともに、まちづくり機関（TMO）の設立支援と機能強化と併せ面的な都市基盤整備を推進し、快適な商業空間の創出に努めるものとする。

また、工業については、長引く景気の低迷や金融不安等により企業の整備投資や新たな企業の立地は停滞している。今後は、地域と連携した企業支援体制を構築するとともに、工業団地等を中心に基盤整備を進めながら、町人会等を活用した企業の誘致活動を積極的

に推進していくものとする。

#### 4 観光資源の開発

本町の観光資源は、歴史や自然を素材とするものが多く見られ、人々の価値観が「心の豊かさ」へと変化した今日では、その潜在能力は期待されるものがある。

今後、東九州自動車道の開通など総合交通網の整備を契機に、本町の特色を生かした個性的で魅力ある観光地づくりに努めるとともに、市町村の枠を越えた広域観光ルートの形成に取り組むものとする。また、「スポーツランドみやざき」の一翼を担うため、様々なスポーツ大会やスポーツキャンプの開催誘致に努める。



### 第3節 健康で思いやりのある社会づくりの推進

#### 1 保健衛生の充実

生涯を通じて健康な生活を送ることのできる「健康で活力ある町」を構築していくために、健康診査の受診率の向上に努め、疾病の早期発見・早期治療と事後指導の徹底を図るとともに、栄養教育指導・健康教育・健康相談等疾病予防に努め、地域と一体となった健康な社会づくりを推進する。また、少子・高齢化の進行に対応し、町民に良質の医療が提供できるよう医療サービスや医療機関の充実に努める。

#### 2 社会福祉の充実

すべての町民が、住み慣れた地域社会で安心して健康で充実した生活ができるよう共に生きる福祉社会の実現をめざし、福祉の心の醸成や福祉サービスの充実に推進していくものとする。

また、家族や地域の人々の協力・支援により、社会的立場の弱い高齢者や身体障害者(児)等が社会活動へ積極的に参加し、その能力が十分発揮できるよう施策の推進に努めるとともに、在宅者の介護予防・生活支援をはじめとする生きがい対策の推進と福祉の充実に努める。

さらに次代を担う児童が心身ともに健やかに生まれ、かつ育成されるために、家族をはじめ、地域社会における児童を取り巻く環境の整備とともに、地域ぐるみでの健全育成に努める。

#### 3 社会保障制度の充実

本格的な少子・高齢化社会を迎え、老後の所得保障としての年金制度の果たす役割は、ますます重要なものとなってきている。このため、一人ひとりの年金受給権の確保と制度の基盤強化を図るとともに、被保険者の理解を得ながら制度の健全運営に努めていく。

また、急速な高齢化や医療技術の高度化等により医療費の増大が著しく、医療保険制度の運営には、多くの困難が生じることが予想される。町民が健康で心豊かに生活できる社会とするため、病気の早期発見や治療にとどまることなく、健康を増進し、発病を予防する「一次予防」に重点を置いた施策を推進し、医療費の適正化と財政の安定化を図るものとする。

さらに、介護保険事業については、高齢者の保健福祉サービスの着実な推進を図るとともに、介護を社会的に支える仕組みとして構築し、供給体制の整備確立を図るものとする。

## 第4節 個性豊かな人づくりと文化の高揚

### 1 学校教育の推進

学校教育においては、豊かな人間性、社会性、創造性、国際社会に生きる日本人としての自覚と責任を持った人間を育成することを目標とする。このためには、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動し、よりよく問題を解決する能力や、他人と協調し他人を思いやる心、感動する心などの豊かな人間性を身につけるとともに、たくましく生きるための体力を培うことが必要である。

これらの教育目標を達成するために、教育環境、施設の整備充実を図るとともに、教師自身の資質の向上に努めるものとする。さらに、学校、家庭、地域はもとより、各組織や関係団体との連携を密にして、信頼関係を堅持しながら地域ぐるみで教育体制を整え、学校教育を推進していくものとする。

### 2 社会教育の推進

個人の生活や意識が多様化し、人生の各年齢階層別の生活環境は大きく変化している。こうした時代の変化に対応するため、いつでも、誰でも、どこでも学習できるよう学習機会の拡充や施設の充実を図り、生涯各期における学習基盤の確立を図るものとする。さらに、学校完全5日制に対応し、学校のありかた、公民館活動の見直しを行い、学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割分担を明確にしながら連携・協力し合い、青少年の健全育成に努めるものとする。

また、学校体育依存型から生涯型社会体育への移行をめざし、子どもから高齢者まで、より多くの町民がスポーツ・レクリエーションに取り組みやすい環境をつくるため施設の充実や団体・指導者の育成に努めるものとする。

### 3 町民文化の向上

文化ホール、図書館複合施設を文化振興事業及び町民の生涯学習推進施設の核として、芸術・文化催事の拡充に努める一方、図書館活動において、各年齢各層に対応できるよう内容の充実、施設整備を推進する。

また、県内をはじめ全国とのネットワークを保つことで町民の感性を豊かにし、文化の充実・振興に努め、あわせて、生きがいのある町づくり、人づくりをめざすものとする。

さらに、町民の貴重な財産である文化遺産については、愛護意識の高揚に努めるとともに、適切な保存・管理を行い、継承していくものとする。

## 第5節 計画の実現に向けて

### 1 町民参加の町づくり

川南町の将来像である「生まれて育ったことに誇りの持てるまち川南」を実現するためには、行政の努力はもとより、地方自治の主役である町民一人ひとりが、地域、職場をはじめとしたそれぞれの立場でまちづくりへの積極的な参加が必要である。このために、広報広聴活動をさらに充実し、町民に対して町政の的確な情報を提供するとともに、各種委員会へ女性を積極的に登用するなど、幅広い分野において町民参加の機会を広げていくものとする。

### 2 効率的行財政の推進

経済情勢が低迷し、財政の硬直化が進み財政事情がますます厳しさを増すなかにおいて、行政需要は多岐にわたり、町民の行政に対するニーズも、今後ますます複雑化・多様化してくるものと思われる。こうした状況のもと、公正かつ効率的な行財政の運営を進めるために、引き続き行政改革を強力に推進し、事業の見直しや民間活力の導入などによる経費節減を行いながら、事業の重点化・効率化に努め、行政マンとして住民ニーズに迅速・的確に対応できるよう、職員の資質とサービスの向上を図るものとする。